

特集

但馬の未来をデザインする

TAJIMA  
Design

廃校を利用した企業誘致

養父市

失われた町の灯火を希望の灯りへ変える

# 地域コミュニティ再生の新たな方法 企業誘致で地域に灯りをともす



通信・単位制のウイザスナビ高等学校として生まれ変わった旧人谷小学校。

無料相談

Q急24時

住まいの救急サービス!無料相談・点検承ります。まずはお電話下さい!

☎0120-243-566

こんな時に!

トイレの水モレ・樋のつまり・床下点検・白アリ点検など

リフォーム お得! 安心DEおつりプラン

おつりプランA 10万円コース  
脱衣所リメイク・リフォーム

その他  
・白アリ防除  
・ペンキ塗り  
・八畳床張替など

おつりプランB 30万円コース  
トイレ大変身 リフォーム

その他  
・一室リフォーム  
・玄関サッシ入替  
・6畳床暖房など

おつりプランC 50万円コース  
お風呂モデルチェンジリフォーム

その他  
・2重サッシ全室取付  
・ユニットバス工事  
・キッチン入替など

安心・重量木構・床暖房が標準

イズミホーム

泉建設株式会社 IZUMI CORPORATION  
〒668-0061 兵庫県豊岡市上佐野68-1

好評!火災警報器  
取付サービス中!

天井用1台  
3,850円

取付・税込(6月まで)  
ぜひ今の内にどうぞ!





ウイザスナビ高等学校では、養父本校でのスクーリングを実施。地域の人々を指導者に招いて農業体験やものづくり体験を行い、地域の活性化という役割を担っている。

## 廃校に灯りをともす

少子高齢化が進む現代の日本。過疎化が急速に進行している但馬地域においては、特に深刻な問題だ。地域コミュニティの崩壊をいかに防ぐか。地方に住む人間にとって大きな課題となっている。

子どもの数が減少する中、最近、但馬でも学校統合の話題をよく耳にするようになった。かつて子どもたちの活気ある声で溢れていた校舎が廃校となってしまうのは、何とも寂しいことだ。

そんな中、養父市ではこの状況を

逆手に取ったユニークな取り組みが行われている。

題して、「がんばる養父市企業誘致プロジェクト」。これは廃校となった学校施設を利用して、企業を誘致するというもの。企業にとつては土地の確保や設備投資といったコストを削減でき、市にとつても、新たな雇用の創出によって人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化が期待できる。

また、財政の厳しい養父市にとつて、新たに工業団地を造成することなく、企業を誘致できることは大きなメリットだ。

平成22年4月廃校予定を含めて、

養父市には現在10校の小・中学校跡地があるが、その内2校はプロジェクトが功を奏し、企業誘致に成功している。再び灯りが戻った校舎がどのように活用されているのか。地域はどう変わりつつあるのか。その現状を追った。

## 講師は地元住民

少子化の影響により廃校となった旧関宮町立・大谷小学校。現在は

ウイザスナビ高等学校として姿を変え、その機能をフル稼働している。

この地に高校を開設したのは、元々小中学生対象の塾や予備校の事業を展開していた大阪の民間会社。平成17年、株式会社による学校設置を認める国の構造改革特区を利用して、通信制の高等学校を茨城県高萩市に設立し、ウイザスナビ高等学校は2校目となる。

「当校では、グループごとに年1回、本校でのスクーリングを行っていきます。通信制の高校ですから全国に生徒がいるので、1校だけでは対応が難しくなるという懸念は当初からありました。西日本で拠点になる場所を探していた時に、養父市が廃校跡地への企業誘致に取り組んでいることを知って交渉をスタートしたんです」とは、理事の谷本さん。

ちょうど養父市も、プロジェクトに本腰を入れ始めた頃だったこともあり、まさに渡りに船。交渉は順調に進んでいった。

中でも旧大谷小学校に決めたのは、水ノ山を望む絶景や、国道9号に面しアクセスが比較的良好だったことに加え、何よりも地域のバックアップが大きかったという。

「養父市が提唱されている『教育

## SIセンサーコンロ



お手入れが簡単

清掃しやすいフラットなガラストッププレート！

4つの安心安全機能を全コンロに標準装備！

- ◆焦げつき自動消火
- ◆消し忘れ消火機能
- ◆立消え安全装置
- ◆天ぷら油加熱防止

## (株)とよおかガスセンター 春のキッチンリフォーム祭り

平成22年 4月16日(金)・17日(土)・18日(日) 10:00~18:00  
場所:タカラスタンダード(株)豊岡ショールーム  
0120-86-3194  
(問) (株)とよおかガスセンター 豊岡市城南町5-1  
協賛:タカラスタンダード(株)



大阪ガスグループ 豊岡エネルギー

〒668-0047 豊岡市三坂町6-57 TEL.0120-85-4108 http://toyooka-e.co.jp/ 豊岡エネルギー 検索



# 決め手は惜しみにない地元のバックアップ 但馬人の「優しさ」が企業を呼び込む

を核とした地域の活性化」という理念が、本校の教育理念とびつたり合致しました。人が元気になるためには、人づくりが必要と言っていたら、この地でそのお手伝いをしたいと思っただけです」と、谷本さんは語る。

しては成り立ちませんので、大変感謝しています。地元の方々のよい所は叱ってくれること。刃物を使うこともありますから、生徒がふざけたりした際は、本気で叱つてくれます。叱るという行為は教員にとって慎重になる場面ですが、地元の方は容赦

「体育館の高さがちょうどよかったんです。大きなタンクを設置するにはびつたりでした」とは、酢の製造・販売を手がける但馬醸造株式会社の田崎さん。渡された名刺の肩書きは、「社長」ならぬ「校長」と書いてあった。

する理解と期待も、開設への大きな後押しになった。

ありません。人生の師とも言える年代の方たちですから、生徒も素直に受け入れています。厳しい社会へ出ていくための自立心を養う意味において、格好の指導者だと思えますね」。

寂しいイメージを持たれがちな「廃校」という言葉。そのイメージを払拭するため、代表取締役校長としたそう。今では営業の際の話題づくりに一役買っている。

養父市の本校で行われるスクーリングは、ウィザスナビ高等学校の大きな特徴のひとつ。スクーリングでは、2泊3日ほどの日程で体験学習やボランティア活動を行い、人とのふれあいや実体験を通して、生徒の心の成長を促している。

今後は養父市の第二の高校として、もつと地元の子どもたちに進学先のひとつとして認知されることが目標だと話す。地域に根ざした教育は、一歩一歩着実に進んでいる。

「西谷小学校を選んだのは、自然環境のよさ。水ノ山のブナ林が近くにあることから、食品を扱う会社にとって、水がきれいなことは大きなポイントでした。それに空気も美味しい。酢の生産にはもってこいの環境です」。

心とした地元の人々。これは「家庭」「学校」「地域」の三位一体で子どもを育む教育方針の一翼を担うもので、プログラムもむら細工や木工芸、もちづくりや手芸など、地元の人の特技を活かした内容となっている。

「スクーリングは地域の協力なく

大型のタンクが並ぶ体育館では、昔ながらの製法にこだわった「但馬の酢」そのままかける但馬の料理酢の2製品を醸造。養父市内の道の駅を中心に置いてあり、販売数を順調

「スクーリングは地域の協力なく

と、食欲を誘う酢の香り。それもそのはず、旧大屋町立・西谷小学校では体育館を利用して、酢の醸造が行われている。

と、食欲を誘う酢の香り。それもそのはず、旧大屋町立・西谷小学校では体育館を利用して、酢の醸造が行われている。

## 体育館が酢の工場に！



但馬の業者で初取得!

1日1組様限定の完全貸切ホールで「ありがとう」が集まる、思い出を語り合えるお葬式を。

私たちは、お客様の大切な個人情報をきちんと扱うことが出来る企業です。

株式会社 **西村交益社**

アクセス



〒667-0044  
兵庫県養父市八鹿町国木133-1  
TEL.079-662-5909

フリーダイヤル  
**0120-62-5909**






酢の醸造工場へと転用された旧西谷小学校の体育館（上）。時計は学校で使用されていたままのもの。奥のステージ裏は熟成場として改修され、まさに製造現場の舞台裏として使用されている。理科室（右）は分析室として研究が行われている。

に伸ばしている。

「小学生の体格に合わせた仕様になっていますが、思ったよりも使い勝手はよいです。水回りなどの設備や耐震構造もしっかりしていて、造りは立派。校舎跡は製造業にとつて、比較的に利用しやすいと思います」と田崎校長。

旧職員室は事務室、理科室は原料や製品の分析室、その他は倉庫として活用。教室の一部は昔の写真やトロフィーなどを展示し、埋もれつつあった学校の想い出も大切に保管されている。空いている教室は他にもたくさんあり、家庭科室での料理教室など、構想には事欠かないそうだ。

人口の減少が進んでいた地元では、「人の出入りが多くなり、賑やかになった」と歓迎ムード。工場の灯りがともつて町が明るくなったと、学校が地域コミュニティの中心として、再び動き始めている。

さらなる地域の活性化を担うべく、将来的には養父市の農作物を使用した商品も製造したいと、夢はさらにふくらむ。

### 地域再生の原動力として

「廃校」を逆転の発想で、「生きる学校」へと変えた養父市の企業誘致

プロジェクト。取材した2つのモデル

ともに、企業進出を決めたのは、地元住民の協力と自治体のサポートが期待以上に大きかったことだ。

「養父市の人は優しい」とは、両方の企業で聞かれた言葉。地元の人が本当に声をよくかけてくれるそうで、但馬醸造では視察の際にかけられた気さくなあいさつが選定の決め手となった。

ウィザスナビ高校では、事務室で話し込んで帰る人もいるそうで、他の地域では経験したことがないそうだ。見知らぬ土地にとび込む者にとつて、大きな力となったという。

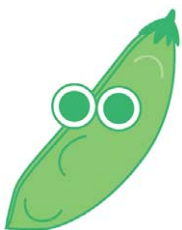
また、養父市でも用地取得、許認可事務や優遇策など、全面的に企業をバックアップ。地元と企業のパイプ役として、円滑に地域へを溶け込めるよう万全の体制で臨んでいる。

まだ動き出したばかりの廃校を利用した企業誘致。しかしながら、廃校にとつた2つの灯りは、地域の灯りとして町を煌々と照らし始めた。

企業誘致プロジェクトには、新たな地域コミュニティ再生の原動力として、大きな可能性が秘められている。

但馬醸造株式会社

養父市商工観光課



## えんどう眼科

日帰り白内障手術・コンタクトレンズ処方

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9時～12時	●	/	●	●	●	●
午後3時～6時	●	*	●	●	●	/

\*火は午後4時から6時まで受付(手術のため)

養父市上箇15-1 Yタウンから大屋方面へ200m

☎(079)664-1324 予約できます